

## 平成30年度 1学期始業式あいさつ

2年前から毎年スローガンを決めて学校を運営してきました。平成28年度は『チーム松農 新たな学校文化の創造へ ～高めよう学力・マナー・愛校心～』。昨年度は『松農 stage118 新たな歴史を刻め ～美しく咲け 439の蕾～』でした。このスローガンを考える際に、イメージするのが今の皆さんの姿であり、学校の姿です。この現状をどうしたいかからスローガンを考えていきます。2年前初めてスローガンを考えたときのメモには、「全体的に難しい問題にあたったときにくじける、分からないことを考えない、自己肯定感が低い…」などと書かれていました。それを解消するために新たな学校文化とか、高めようとかといったフレーズにしたのだろうと今さらながら振り返ってみました。

今年度は『誇れ！輝け！地域の希望となれ ～ともに学び 鍛え より高みへの挑戦～』をスローガンとします。3月の終業式の時に北海道遠別農業高校の話をしました。過疎化が進む日本最北端の農業高校の頑張りが、その町やその町で暮らす人たちの励みになり、過疎化が進むこの地域で、農業高校が町の人たちの希望となっているという話です。そのように、皆さんが学ぶこの松江農林高校も地域の希望となれるようにという願いを込めて地域の希望となれというフレーズをつけました。

誇れ！輝け！という言葉は、皆さんに自分たちが頑張ってきたことに誇りを持ってほしいという思いからです。表彰式での皆勤賞の表彰の時の返事について注意しました。1年間頑張って皆勤した生徒が、名前を呼ばれて立つときに多くの生徒が大きな返事をしない、逆に大きな返事をして立った生徒が笑われるというような学校の雰囲気はやはりよくないと思っています。遠慮がち、控えめを美德とする日本文化の一つなのかもしれませんが、皆勤を通すということは相当の頑張りが必要です。その頑張ってきたことを表彰されたときに、堂々とできないような学校の文化を、私は作りたくないと思っています。自分自身に誇りを持ち、そして頑張ってきた生徒を皆が称えるような学校であってほしいと願っています。そんな思いを込め、松江農林高校で学んでいるということにも誇りを持って学校生活を送ってほしいという願いを込めて、誇れ、輝け、そして地域の希望となれ、としました。皆さんが充実した学校生活を送って、勉強に部活動に、さらには地域の課題を解決したり、ボランティア等の活動を地域の皆さんと一緒にやるような姿が輝き、誇りとなっていきます。将来この地域を支えてくれる若者としての希望となるように期待してのスローガンです。

生徒の代表が、皆さんの前に立って話す姿を見ても堂々としていて立派な姿が多くなってきています。発表する様子を見ても数年前とは全然違った姿が最近目立つようになりました。学校は、生徒の皆さんは、確実に成長しています。このことにも皆さん自信を持ってください。できそうにないことでもやってみようとするのが大事で、これが成長につながっていきます。『ともに学び 鍛え より高みへの挑戦』です。共に、友に 学びながらこの1年間自分自身をしっかり鍛えてください。小さなハードルをいくつも乗り越えるという挑戦を重ねながら確実に成長してください。

挑戦して失敗することに対しては拍手を送る組織にしたい。できることをやってもそれは変化に過ぎず、できそうにないことをやるのが改革であり、それが挑戦です。『誇れ！輝け！地域の希望となれ～ともに学び 鍛え より高みへの挑戦～』チーム松農の新しい挑戦が始まります。

